

みはる ぎかい

2026/2
No.183



特集 P.2-4
意見交換会

P.5 請願と陳情
P.7 まちの“ギモン”を直撃
P.16 みはるのキラ人

三春町議会では、町民の多くの意見を町政に反映させるべく各種団体を中心に意見交換会を行っています。今回は、令和7年12月までに意見交換が行われた3団体の特集として取り上げます。

2025年11月14日開催

三春町住宅研究会

テーマ 岩江地区の除染仮置き場跡地利用について

岩江地区の要望に基づき、現在三春町住宅研究会では、各社で案を作成しプロポーザルを行うなど跡地利用について考えています。今回は住宅研究会で作成した案について意見交換をしました。

意見交換会の内容

住宅研究会

- ・子どもたちが遊べる空間や岩江地区の自然を活かした複合施設など、地域の中心になる計画が望ましい。
- ・三春町内外から人が集まるようなお店や施設、こどもクリニックなどの医療施設があるとよい。
- ・舞木駅や岩江小学校、こども園などの施設との動線を考えた設計が重要。

議会

- ・住宅、商業施設、屋内遊び場、医療施設の複合整備が若い世代を呼び込むために必要。
- ・宅地整備が最優先。住宅研究会との意見交換は有意義。
- ・河川が増水した時の治水対策が必要。管理道路を確保して郡山方面に抜けられるようにするべき。



まとめ

将来に向けた土地の有効活用について、県の河川改修終了後速やかに事業が進むよう、早い段階から検討していく必要性が確認されました。

代表者の感想

議員さんからたくさんお話を伺いまして、具体的にこういう提案をしたほうが良いのかと大変参考になりました。多様な意見を出すことが今回の目的でしたので、まちづくりのためにいろいろな提案をしていきたいと思います。

影山吉則会長



特集

意見交換会

2025年12月12日開催

三春町認定農業者協議会

テーマ 三春町の農業振興について

「三春町における新たな振興作物について」、「振興作物を広めていくうえで、町が行う農業支援策について」の2点を中心に意見交換をしました。

(12月9日に行われた三春町農業研修会に議員も出席し意見交換会に臨みました)

意見交換会の内容

- ・6次化の推進による付加価値向上と販路拡大のため、加工施設の町内設置と既存設備の更新を望む。
- ・農業機械設備の共同利用実現のため、町による支援体制の強化を望む。
- ・後継者育成には、法人化の促進や外部からの若手人材受け入れなど、就農環境整備が必要。
- ・遊休農地を増やさない維持管理体制づくり、基盤整備、排水施設の更新などの継続的实施が必要。
- ・町や議会が連携して、現場の声を反映した支援策を進めることが必要。



まとめ

三春町の農業は、担い手不足や高齢化、荒廃農地などいくつかの課題を抱えています。これからの農業を支えていくためには、農家一人ひとりの努力だけでなく、法人化や地域全体で支える仕組みづくりが大切です。

今回の意見交換会でいただいた声をふまえ、議会としても関係する皆さまと連携しながら、具体的な取り組みについて検討を進めていきます。

代表者の感想

これまでさまざまな会議の場で課題を提起してきましたが、その声が十分にフィードバックされず、実現につながっていないと感じています。特にお願いしたいのは、農業に関する予算の確保です。補助金制度がないわけではありませんが、現場から見ると十分とは言えず、担い手の負担が重く、限界に近い状況にあります。また、将来の担い手を育てるための受け入れ体制も整っていないのが現状です。後継者づくりを進めるためにも、こうした体制整備に必要な予算をぜひ確保していただきたいと思います。

影山忠夫会長



2025年12月16日開催

一般社団法人田村青年会議所

テーマ 磐越東線の利活用について ～利用者目線と政策提言の両方から考えよう～

今までの開催でも初めての手法「ワークショップ形式※」で意見交換会を行いました。

※ワークショップ…参加者が主体となり体験や議論を通じて、知識やスキルを深めたり、新たなアイデアを生み出したりする学習・交流の場のこと。グループで課題に取り組んだり、意見を出し合ったりする参加型・体験型のアプローチ手法。

意見交換会の内容

田村青年会議所からは玄葉俊行理事長をはじめ5人の皆さま、三春町議会からは影山初吉議長をはじめ8名の議員が出席しました。

事務局が進行役となり、第1部で現状の課題を抽出、第2部では課題解決のアイデアについて、議会としてできること、青年会議所としてできること、連携して取り組むべきことについて話し合いました。

●ワークショップで出た主な意見

磐越東線をめぐる主な課題
列車の本数が少なく、通学・通勤や夜間の利用がしにくい
バスなど二次交通との接続が悪く、駅からの移動が不便
駅や周辺が「古い」「暗い」など、利用時に不安感がある
運賃が割高に感じられるため、車移動が選ばれやすい
利用方法や沿線の魅力に関する情報発信が不足している
利用促進に向けたアイデア
通学・通勤の時間帯に合わせたダイヤを試してみてもどうか
駅から先の移動が楽になれば、列車を選ぶ人は増えると思う
駅前に少し立ち寄れる場所があるだけでも印象は変わる
学生やイベント利用者向けの割引があれば、気軽に使いやすい
列車で行くイベントなど、使い方が見える企画があれば乗るきっかけになる



読者のみなさん、磐越東線の利用促進に向けたアイデアはありませんか？

代表者の感想

今回の意見交換会を通じて、青年会議所が現場で感じている課題と、議員の皆さまがとらえている課題とに、大きな違いがないことを実感しました。解決に向けた方向性も重なる部分が多く、私たちが行動を起こしてきたことへの確かな手応えを得る機会となりました。若い世代が主体的に動き、議会の皆さまと意見を交わしながら地域課題に向き合っていくことで、三春町の未来は必ず切り拓いていけると強く感じています。

玄葉俊行理事長



※町民と議会との意見交換会について

- 趣旨 議会政策機能の立案強化、町の地域振興及び住民の福祉向上につなげることを目的としています。
 - 期間 通年で開催しています。
 - 対象団体 5名以上の参加が見込まれる、町民参加団体。
 - テーマ グループ、団体などの活動に沿ったテーマ
- その他の詳細については三春町議会事務局（電話 0247-62-8124）までお問い合わせください。

＼ 私たちの権利 ／

せいがん
請願

と

ちんじょう
陳情

国や地方公共団体などに意見や要望を文書で伝える「請願」と「陳情」について解説します。

請願ってなに？

憲法で保障された国民の権利。町議会に対する請願は町議会議員の紹介を通じて議会で審査を行います。

陳情ってなに？

法的な保障はありませんが住民が議会に直接提出できる要求で、議会で審査を行います。

住民

紹介議員

請願書の提出

陳情書の提出（持参）

陳情書の提出（郵送）

※三春町では郵送の場合、議員への配布のみとなります。

議長（受理）

本会議 委員会へ付託

委員会 審査（採択・不採択・継続審査）

本会議 採決（採択・不採択・継続審査）

採択 国等へ意見書提出

請願者 審議結果通知

※ここがポイント

議員は審査時に意見が分かれた場合、少数意見を留保する意思表示をすることで、本会議の時に討論することができます。



委員会審査のようす

定例会12月会議で提出された陳情（全件採択）

陳情第7号 最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書の提出について 提出者 郡山地方労働組合総連合

内容 最低賃金の大幅引上げにより、中小企業・小規模事業者の経営環境が一層厳しくなることから、賃上げを進めやすい環境整備のため、国による支援策の抜本的な拡充を求めるもの。

陳情第8号 院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書の提出について 提出者 郡山地方労働組合総連合

内容 物価高騰の中、医療・介護・福祉・保育分野で働くケア労働者の低賃金や人手不足が深刻化していることから、事業継続と処遇改善を目的に、診療報酬や介護報酬など公定価格の引上げを国に求めるもの。

陳情第9号 物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提出について 提出者 全日本年金者組合福島県本部

内容 物価上昇に年金額が追いつかず、年金生活者の暮らしが厳しさを増している現状を踏まえ、実質的な年金削減を是正し、物価上昇に見合った年金額の引上げを国に求めるもの。

陳情第10号 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書 提出者 福島県保育連絡会

内容 保育士不足が深刻化する中、職員の処遇改善と安定的な保育体制を確保するため、保育所等に適用されている社会福祉施設職員等退職手当共済制度への公費助成を、今後も継続するよう国に求めるもの。

陳情第11号 保育士配置基準の引き上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書 提出者 福島県保育連絡会

内容 保育現場の負担増や事故防止の観点から、子どもの安全と質の高い保育を確保するため、保育士配置基準の引上げを早期に完全実施するとともに、さらなる基準改善を国に求めるもの。

公開します 定例会12月会議 審査議案と議員の賛否

上程議案・概要・結果	賛成：○	反対：×	結果	影山孝男	三瓶一壽	大内広信	佐藤弘	山崎ふじ子	石井一正	小林孝	松村妙子	三瓶文博	篠崎聡	橋本善一郎	佐久間正俊	影山常光	遠藤亮子	鈴木利一	影山初吉
令和7年度三春町補正予算																			
一般会計補正予算(第5号) 1億 204 万円増額	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 1,772 万円増額	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 392 万円増額	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算(第3号) 253 万円増額	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
病院事業会計補正予算(第1号) 収益的収入 2,478 万円、収益的支出 1,912 万円、資本的支出 566 万円増額	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正																			
三春町特定乳児等通園支援事業の運営に関する条例の制定 支援事業運営に必要な事項を定めるため制定するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三春町乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定 運営基準に必要な事項を定めるため制定するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三春町岩江児童クラブ施設設置条例の制定 岩江児童クラブ運営場所移転に伴い、規定の整備をするもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 議会議員に支給する期末手当の支給割合を改定するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正 町長等に支給する期末手当の支給割合を改定するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部改正 職員の給料表、職員に支給する期末・勤勉手当の支給割合や諸手当を改定するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 会計年度任用職員の給料表を改定するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三春町地区公共施設設置条例の一部改正 斎藤地区集会所の行政財産の用途を廃止するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三春町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 事業者が田村西部環境センターに持ち込む際の事業系一般廃棄物処理手数料を改定するもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三春町火入れに関する条例の一部改正 林野火災の予防対策強化を行うため、規定の整備をするもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事・その他																			
財産の無償譲渡について 斎藤地区集会所の土地・建物について、斎藤区へ無償で譲渡することに対して、議会の議決を求めるもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償譲渡について 旧岩江分団第2部屯所の建物について、上舞木区へ無償で譲渡することに対して、議会の議決を求めるもの。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦への意見 任期満了に伴い、安部良明さんを推薦。	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書提出陳情 最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書の提出陳情。	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書提出陳情 院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引上げを求める意見書の提出陳情。	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書提出陳情 物価上昇に見合う年金引上げを求める意見書の提出陳情。	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書提出陳情 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出陳情。	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書提出陳情 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出陳情。	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議事進行を行う議長は賛否同数のみ「議長裁決」として賛否表明します。

※佐藤弘議員は体調不良により欠席

まちの“ギモン”を直撃！

12月2日(火) 定例会 12月会議で11名の議員が一般質問に登壇

※一般質問…議員が町に対し町政全般の幅広いテーマについて、政策の執行状況や将来の方針などについて質問します。

鈴木利一議員 …… P10	「公共交通」 三瓶一壽議員 …… P10	「小さな拠点づくり」 篠崎聡議員 …… P9	「古いライフラインは」 遠藤亮子議員 …… P9	「町外への移動支援」 影山常光議員 …… P8	「モンベル効果」 石井一正議員 …… P8	「空き家・空き店舗」
	橋本善一郎議員 …… P13	「北部の農業振興策」 大内広信議員 …… P12	「小学校遊具の環境整備」 山崎ふじ子議員 …… P12	「ごみの減量」 松村妙子議員 …… P11	「防犯カメラ」 影山孝男議員 …… P11	「ふくしまDCの取り組み」

※内容をダイジェスト版でお知らせします。

各ページ2次元コードから一般質問録画映像がご覧いただけます。

次回の一般質問は 3月3日(火) 午前10時 予定です。

手話通訳者が一般質問を通訳します。

空き家・空き店舗



いしい かずまさ 議員
石井 一正



質問者の録画映像
はこちらから

Q 地域住民への
情報提供は

A 町ホームページでの情
報発信を見直していく

石井 全国的に空き家・空き店舗が
増加して社会問題化してい
る。9月の一般質問で「中心市街地
160件に対して掘り起こしに今後
力を入れる」との答弁だが、商工会
や地域住民に対する情報提供はどの
ようにしているのか。

須賀川市は、郡山市や県内外の5
企業と組んでプロジェクトを始動さ
せた。市内大町の空き家で再利用で
きる見込みがあるガラスや家具、金
属部材などを調査し、発生する廃材
や家具などを再利用することで費用
の一助とする仕組みづくりを行って
いる。

産業課長

町のホームページ等で空
き家バンクや空き店舗
情報の情報提供を行っている。今後
は情報管理や情報発信の在り方を見
直し、適切な情報提供に努める。ま
た、中心市街地に空き店舗が増えて

■小売店舗の家賃補助（中心市街地）

対象事業	補助率			限度額
新規 創業者	1年目	2年目	3年目	年間300万円まで (月額25万円まで)
	10/12 以内	7/12 以内	4/12 以内	
新規 創業者以外	1年目	2年目	3年目	年間240万円まで (月額20万円まで)
	8/12 以内	6/12 以内	4/12 以内	

■小売店舗の家賃補助（郊外）

	1年目	2年目	3年目
補助率	8/12 以内	6/12 以内	4/12 以内
限度額	年120万円（月10万円）		

三春町賑わい創出事業

いるということは事実である。空き
店舗の補助事業については、主に大
町・中町の商業地域ということで行
ってきたが、今後全町に広げ、空き
店舗を活用する事業者が参加しや
すくする。

モンベル効果



かげやま つねみつ 議員
影山 常光



質問者の録画映像
はこちらから

Q 経済波及効果の検証は

A 大学・企業と協議しな
がら今年度中に検証を
進める

影山 モンベル誘致をきっかけに、
町活性化に向けた取り組みを
確認する。総事業費18億円、町の実
質負担額は。

企画政策課長

約7億8千800万
円を見込んでいる。

影山

利用客数の目標と実績は何
人か。

企画政策課長

目標の10万人以上
対し、ほぼ半年で9
万5千人となっている。

影山

相乗効果として、三春の里の
客層・客数・売上額の推移は。

企画政策課長

家族連れが増え、利
用客数で約1割、売
上額で約2割の増加となっている。

影山

周辺の賑わいの拠点づくりは
どのように考えているか。

企画政策課長

ダム周辺の施設を活
用したい。



モンベルから街なかへ

企画政策課長

店舗が参加し、1万
8千枚のカードを持ち帰ってもらっ
た。まちナビカードやモンベルフ
レンドショップの店舗数の増加に向
け、商工会・こおりやま広域圏とも
連携し進めたい。

影山

町の活性化・街なか誘導の
施策・実績、情報発信は。

影山

事業の効果を追求してほし
い。

町長

関係者と協力しながら三春町
を豊かにするような方法を進
める。事業の効果については、継続
して確認していきたい。

町外への移動支援



えんどう りょうこ 議員

遠藤 来年4月から三春病院の休業にともない、町外の医療機関を紹介された方の移動支援をどのように考えているか。

保健福祉課長

自家用車での移動や親族などによる送迎が困難である場合、既存の公共交通機関や定額乗合タクシー「こまシェア」などの移動サービスを利用していただきたい。

遠藤

住民説明会において、移動支援に関して前向きに考えていきたいと述べていたが、ぜひとも三春病院の玄関口を待合場所として運行願いたい。

保健福祉課長

公共交通機関などの利用が困難な場合には、実施期間を定めたくて検討していきたい。



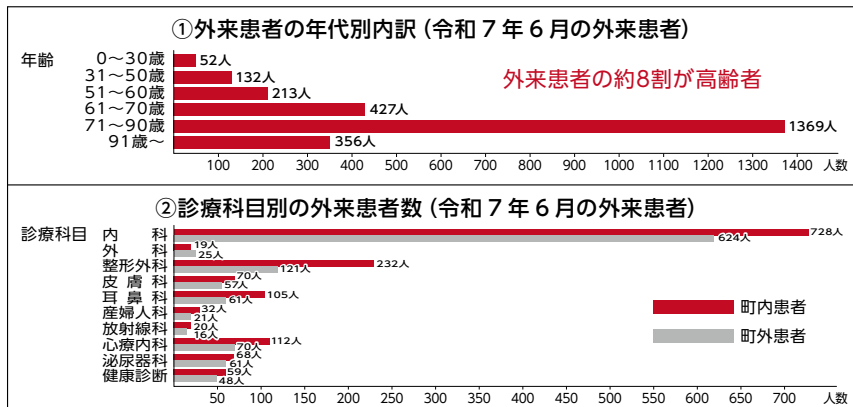
質問者の録画映像はこちらから

A

関係機関等と協議していく

Q

星総合病院への移動支援は



患者の内訳 (令和7年10月28日住民説明会資料より)

古いライフラインは



しのざき さとし 議員

篠崎 配管が古くなって、漏水が起る危険な場所はないのか。

企業局長

法定耐用年数40年を超えている上水道管は、全体の約6%となっている。下水道管では耐用年数が50年を超えているものはない。

篠崎

万が一、漏水が発生して道路が陥没したときの最初の対応は。

企業局長

業務時間内であれば、職員が直ちに現場対応する。休日の場合は、当番制で職員の待機体制を取っている。夜間は緊急連絡体制により、連絡を受けた職員が対応する。漏水の状況により、道路管理者等関係機関に連絡を取り、通行止めの手配を行う。また、状況により断水や水圧を弱める措置を取る。

篠崎

漏水の修繕に対し年間予算はどのくらい見込んでいるのか。



質問者の録画映像はこちらから

A

職員が現場を確認し必要な対策を取る

Q

事故が起きた場合の確認体制は



石綿セメント管

企業局長

令和7年度予算で、900万円を見込んでいる。

篠崎

町内で石綿セメント管を使っているところはないのか。

企業局長

新町地内の一部と、沼之倉地内の一部に残っているため、計画的に更新していきたい。

小さな拠点 づくり



さんべい かつとし
三瓶 一壽 議員



質問者の録画映像
はこちらから

Q 小さな拠点の具体的な
イメージは

A 地域ごとに交流の場を設
け、支え合いの仕組みづ
くりを進めるイメージ

三瓶

三春町が考えているコンパクトシティのあり方をたずねた時に、三春町の居住空間は7つの地区に分けられ、多くの方が居住している旧町内・岩江地区と、他の5地区に分けて検討する必要があると答弁があった。これら5地区において、町の考える「小さな拠点」の具体的なイメージとは何か。

町長

人口減少や少子高齢化が進み、社会情勢が大きく変化していく中で、地域を維持していくために必要な取組み、一人ひとりの住民が豊かな日常生活を営めるような支え合いの仕組みや環境づくりをイメージしている。地域と行政が、それぞれの役割の中で協働して取り組むための拠点としては、人々が良く集まる地域の公民館や小学校などが考えられる。西日本の過疎が進んでいる山村地区などでは、もうすでにそう



<参考事例:中郷学校>
みんなで考えよう!小さな拠点に必要な機能

いった活動に取り組んでいる実例があるので参考としたい。三春町では今、学校再編で廃校となる施設等の再利用について、庁内でプロジェクトチームをつくり、地区の方々の意見も十分参考にして取り組もうとしている。

公共交通



すずき としかつ
鈴木 利一 議員



質問者の録画映像
はこちらから

Q 全体の考え方は

A バスやタクシーなど
様々な組み合わせで考
える

鈴木

10月から実証運行している定額乗合タクシー「こまシェア」の利用者数は。

住民課長

現在の登録者は37名であり、目標の50名には達していない。

鈴木

何名登録すると定着したと考えるか。

住民課長

50名は民間事業者の採算性を考えた人数設定である。

鈴木

「こまシェア」の運行には国の補助金が入っているが、いつまで続くのか。

住民課長

次年度以降についても利用できるよう、国へ申請を行っていく。

鈴木

茨城県大子町では乗合タクシーで運行しており登録者は1600名で、一回300円・夜間は500円で運行している。この



定額乗合タクシー「こまシェア」



三春町営バス

ような運行方法は考えられないか。今行っている実証運行の検証を行い、回数での運行が可能か今後検討する。

鈴木 町全体の公共交通の考え方は。

住民課長 人口が集中する地域の公共交通は町営バスを軸にして、町営バスでカバーできない部分は「こまシェア」や「おでかけ応援隊」、民間タクシーなどの組み合わせで交通体系を考えていく。

ふくしまDC の取組み※



かげやま たかお
影山 孝男 議員



質問者の録画映像
はこちらから

Q 令和8年度の新たな
取組みは

A 姉妹都市と連携した
イベントなどを実施

影山 今年度ふくしまブレDCが開
催された。来年度の本番に向
けて、具体的な取組はどのよう
に考えているか。

副町長 姉妹都市である一関市の東
山和紙を活用した「おもて
なし竹灯籠」の設置、「三春町推しパ
ンフレット」の配布、まちなか周遊
を目的とした「重ね捺しスタンプラ
リー」、「三春まちなか神社巡り」等の
事業を考えている。

影山 DCは期間が限定されてい
るが、通年の観光誘致として三
春の里やアウトドアヴィレッジとあ
わせ、ファームパークいわえの「田
んぼアート」等の三春町全体のPR
強化を図ってはどうか。

副町長 町全体を考え、観光客の方
がおおいでになる方法を、ま
ちなか集客も含め関係機関と相談す
る。



ふくしまDCのPRに
ファームパークいわえの田んぼアートを

影山 磐越東線活性化対策協議会の
関連で、三春駅北側の傾斜地
を利用し、イメージアップの目立つ
イルミネーションを設置しては。

副町長 駅前では光のページェント
を実施していたが、その場
所に設置できるか今後検討する。

防犯カメラ



まつむら たえこ
松村 妙子 議員



質問者の録画映像
はこちらから

Q 通学路への防犯カメラ
設置は

A 2カ年で通学路を中心
に設置を計画している

松村 今年度から来年度にかけて、
通学路を中心に16カ所防犯
カメラを設置する計画だが、その振
り分けは。

総務課長 令和7年度は中町公民館
前、防災センター前、町
民第2体育館前、三春駅の裏口、御
木沢小学校入口、沢石会館前、春田
大橋付近、三春の里前の交差点付近、
斎藤地区集会所付近、岩江センター
入口付近の合計10カ所。令和8年度
は三春駅前、化粧坂交差点付近、担
橋の手前付近、北保育所前、さくら
の公園付近、岩江中学校前の付近の
6ヶ所に設置予定である。

松村 個人住宅の防犯カメラの設置
に対する助成は。

総務課長 現段階では導入を考えて
いない。

松村 窓ガラスに貼る防犯フィルム
など、侵入抑止のための備品

も選択肢の一つと思う。助成の考え
はあるか。

総務課長 施設のカメらは設置され
ているが、道路・通学路
などの公道上をとらえるカメラは今
までなかったため、現在優先的に進
めている。備品は今後検討していく。



役場脇さわやかトイレの防犯カメラ

ごみの減量



やまがき
山崎 ふじ子 議員



質問者の録画映像
はこちらから

山崎 第3次三春町地球温暖化対策実行計画のなかでの、具体的取り組みは。

住民課長

エコドライブ・公共交通機関の利用・太陽光発電の設置や次世代自動車の導入。ごみの減量化や資源化である。

山崎

昨年のリサイクル率が14・3%と低い理由は。

住民課長

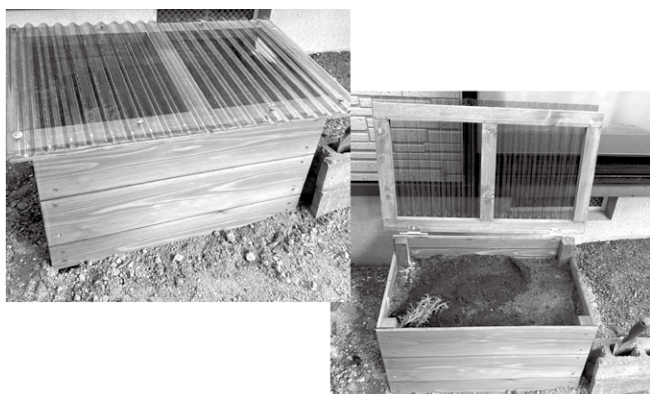
田村西部環境センターの溶解施設が休止となり、灰のスラグ化及び廃プラスチックごみが熱原料として使えなくなったためである。

山崎

可燃ごみの減量対策のため、コンポストなどに補助がでないか。

住民課長

1月～2月にキエーロの体験会を実施する準備を進めている。まずは処理機等を使っていたとき、有効な手段であれば補



生ごみが消えるキエーロ

助を検討していきたい。

A

キエーロ※体験会を実施

Q

家庭ごみ減量対策は

小学校遊具の環境整備



おおうち ひろぶ
大内 広信 議員



質問者の録画映像
はこちらから

大内

学校の校庭や遊具は子どもたちが自由に体を動かし、創造力を育む大切な学びの場である。三春町の学校では遊具が古くなり、種類も少ない。子どもたちがワクワクする環境とは言いがたい状況である。学校の遊具を、テーマパークの要素を取り入れたものに再整備することはできないか。

教育課長

授業や学校行事等の利用が優先される現状の校庭を考えると、敷地面積や多様な利用の促進などの理由により困難であり、検討する考えはない。

大内

古くなった学校遊具の実態について、どのようにとらえているか。

教育課長

毎月1回は点検を実施し、必要があればその都度修繕を行うこととしている。



魅力的な学校遊具へ



福島県広野小学校の大型遊具

大内

子ども達が積極的に外遊びできる環境づくりについて、どう考えているのか。

教育課長

休み時間や週末に学校の運動場を開放し、子どもたちが自由に外遊びできる環境を整えているところである。

大内

子どもたちにとって魅力的な遊具を導入するために、専門家や企業、地域と協力する考えはあるか。

教育課長

学校や遊具設置業者と十分検討しているので、新たな協力は考えていない。

A

授業等の利用優先のため検討する考えはない

Q

小学校遊具のテーマパーク化構想は

北部の農業振興策



はしもと ぜんいちろう
橋本 善一郎 議員



質問者の録画映像
はこちらから

橋本

三春の北部は山間丘陵地が多く、農業を行ううえで恵まれたところではない。しかし近年、ぶどうの栽培に力を入れている話を聞いた。産地形成のため、規模拡大を図るとともに、ぶどうを利用した加工施設も必要ではないか。北部の農業振興策をどう進めるのか。

産業課長

自然条件が果樹栽培に適しているという専門家の意見もあることから、新たな振興作物として果樹栽培を広めたいと考えている。

産業課長

補助金は有効な手段と考えているため、他自治体の補助内容などの調査・研究を行い、新たな補助金制度について検討する。

橋本

補助金等はあるのか。



「うまいブドウ作っぺない！」

橋本

6次産業化の考えはあるのか。 今後は果樹全般に焦点をあて、三春ならではの6次化商品の開発を支援していく考えである。また、三春産農作物のブランド化を図ることで、他産地と差別化し、農業の経営安定化を目指す。

産業課長

Q

北部の農業振興策をどう進めるのか

A

振興作物に果樹栽培を普及させたい

傍聴者へ直撃インタビュー



はしもと よしみ
橋本 好美さん
(舞鶴大学)

12月2日の一般質問を傍聴された方へお話をうかがいました。

今回で2回目の傍聴となりましたが、質問に対する町長の答弁がとても分かりやすいと感じました。私はまちづくりの地域部会長として活動していますが、日頃は町の課題を具体的に知る機会が少ないのが現状です。今回の傍聴を通して、議員の皆さんが町の状況をよく把握し、課題に向き合っていることが伝わり、安心感を持つことができました。機会があればぜひまた傍聴したいと思います。

その後どうなった ～ 一般質問で取り上げたテーマを追跡 ～

各地区のサロン活動充実のため、スクエアステップのリーダーを増やすよう令和5年3月に一般質問をしました。今年度養成講座が開催され、新たに18人誕生しました。町内全51人のリーダーのご活躍が期待されます。



令和7年9月一般質問の「ラーケーション※」について、早速、各小学校の保護者に向けたアンケート調査の動きがありました。このような速やかな対応で町民の意見を反映して頂くことを望みます。

※ラーケーション…愛知県発祥の「学習 (Learning)」と「休暇 (Vacation)」を組み合わせた造語で、保護者等の休暇に合わせて子どもが平日に校外で自主学習活動を行う制度

一般質問 傍聴者アンケートまとめ

傍聴者：63名 回答者：54名(回答率85.7%)

①質問について

- ・内容が重なる部分は、もう少し簡潔にまとめてもよいのではないかと感じた。
- ・資料の読み上げではなく、自分の言葉で説明してもらえると分かりやすいと感じた。

🗨️ 質問の趣旨をより分かりやすく伝える工夫を求める声が見られました。

②再質問・議論の進め方について

- ・答弁をふまえた再質問があると、議論がさらに深まるのではないかと感じた。
- ・再質問が行われない場面では、少し物足りなさを感じた。

🗨️ 再質問を通じた、より丁寧な議論を期待する声がありました。

③医療・交通など生活に関わる課題について

- ・病院に関する今後の対応について、生活面での支援も考えてほしいと感じた。
- ・高齢者にとって利用しやすい交通手段なのか気になった。

🗨️ 医療や移動手段について、暮らしの視点からの意見が多く寄せられました。

議長杯パークゴルフ大会開催

第1回三春町議会議長杯パークゴルフ大会が11月9日に田村パークゴルフ場で開催されました。当日は29名が参加し、熱戦が繰り広げられました。開会式後に鈴木利一副議長による始打式を行い、参加者は元気にスタートしました。1日500円でできる、手軽で楽しいスポーツです。ぜひ皆さんも楽しんでみませんか！

連絡先：渡辺敏 ☎ 090-4885-3096

●36ホールストロークプレーによる大会結果（敬称略）

	男 子	女 子
優 勝	佐藤 行雄	伊藤せい子
準優勝	佐藤 信一	橋本 英子
3 位	菅井 純一	溝井ノリ子
4 位	橋本 俊幸	宗像 明子
5 位	渡辺 敏	務川喜美子



宮城県七ヶ浜町議会が視察研修で来町

12月9日、宮城県七ヶ浜町議会広報広聴常任委員会広聴分科会の委員および事務局の9名が、三春町を訪れました。三春町議会が取り組んでいる広聴活動について「各種団体や町民との意見交換会」をテーマに説明を行い、両町の現状や課題、問題点などについて学びあいました。予定時間を超えるほど白熱する意見交換となりました。



あいさつを行う七ヶ浜町議会鈴木篤広報広聴常任委員長



第47回議会クイズ



中学生による英語弁論大会が行われましたが、
三春町と姉妹都市になっているアメリカのライスレイク市は何州ですか？

①ミシガン州 ②ウィスコンシン州 ③ミネソタ州

前回の答え
①まほらホール

◆応募方法

クイズの答え、氏名、住所、年齢に加え「議会」や「みはる議会だより」に対するご意見、ご感想を併せて記入のうえ、下記の QR またははがきで送信（送付）してください。また、メールでの応募も受け付けますので、必要事項を記入のうえ、下記のアドレスまで送信してください。正解者の中から、抽選で3名の方に1,000円分のプリペイドカードを差し上げます。当選は発送をもって代えさせていただきます。

◆送付先

〒963-7796 三春町字大町1-2 三春町議会事務局

メールアドレス gikai@town.miharu.lg.jp

◆締切日

令和8年2月18日（水）（当日消印有効）

※ 応募いただいた方の個人情報は、このクイズ以外の目的には使用しません。

はがきが無くても
回答できます



持続可能な議会へ

町議会では、人口減少の進行や無投票選挙が続いている状況から、町民を代表する議決機関として、将来を見すえた（持続可能な）議会のあり方を検討しています。現在、議会運営委員会において、議員定数や議員報酬、なり手不足、女性参画などに関する各議員の考えを整理するため、「議員定数・議会のあり方等の調査」や「議会・議員の活動量の調査」を実施しています。これらをふまえ、議会の役割やチェック機能を十分に果たすための適正規模や運営のあり方について協議を進めてまいります。

議会運営委員会 委員長 佐藤 弘
副委員長 影山常光



議会運営委員会のメンバー

「みはる議会だより」モニター募集 -第5期モニターを募集します-

三春町議会では、より読みやすく、分かりやすい「みはる議会だより」の紙面づくりのため、モニター制度を導入しています。皆さんからいただいたご意見やご感想は、議会だよりの編集・発行に活かしています。このたび第5期モニターを募集します。皆さんの視点を議会だよりに活かしてみませんか。

●任期 2年（令和8年4月1日から令和10年3月31日まで）

●活動内容 年4回（5月・8月・11月・2月）発行する「みはる議会だより」をお読みいただき、紙面に対する意見や感想などを指定の様式に記入のうえ提出していただきます。また、任期中に一度議員との意見交換会にご参加いただきます。

●募集人数 7人以内 ※応募者多数の場合は、調整させていただきます。

●応募資格 ・町内に住所を有し、18歳以上の方（令和8年4月1日現在）
・国または地方公共団体の常勤の公務員でない方

●謝礼 1万円分のみはるプリペイドカード（5,000円/年）

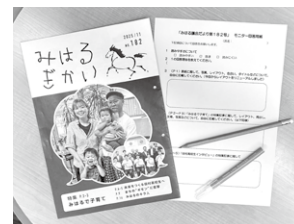
●申込方法・期限

町 HP 掲載の申込書または申込フォームに必要事項を記入のうえ、
2月27日（金）までにお申し込みください。

●申込・お問い合わせ先

三春町議会事務局

電話：62-8124 FAX：61-2310 E-mail：gikai@town.miharu.lg.jp



申込フォーム▶



シリーズ No.9 ～みはるのキラ人～

「みはるのキラ人」と題して、三春町で活躍されている方をシリーズで紹介していきます。
今回は令和7年11月29日に行われた第22回三春町中学生英語弁論大会で表彰されたお二人です。

外科医になって
いろんな人を助けたい



岩江中学校 3年生
鈴木 栗句さん

①大会の感想は

家族への感謝と、自分の努力の結果です。自分をほめてあげたいです。

②苦労したところは

うまく発音ができなかったり、もっと感情を込めたかったけど、なかなかうまくいかなかったです。

③将来の夢は

外科医になりたいです。小さい時、外科医に助けられたので、人々を助けたいです。

④三春町に望むことは

このような交流会を増やしてほしいです。

特別支援学校の先生に
なりたいた



三春中学校 3年生
佐久間 心春さん

①大会の感想は

自分でしゃべってるような感じで、すらすら言えて良かったです。

②苦労したところは

イントネーションと発音が去年と一昨年は悪かったけど、今年は改善できました。

③将来の夢は

特別支援学校の先生になることです。

④三春町に望むことは

滝桜をもっともっと盛り上げてもらいたいです。

今月の表紙

今月の題字はあおいちゃん7歳の字です。元気でのびのびとした字から、明るい表紙になりました。

写真は、田村青年会議所（写真左）と七ヶ浜町議会（写真右）の皆さんです。三春町議会に研修などで来てくださる団体が増えてきました。交流を重ねるなかでお互いに新たな発見があり、研修に「行くこと」も「受け入れること」もどちらも大切な学びだと感じました。



ワークショップによる交流



役場庁舎「桜ホール」を案内

広報広聴常任委員会

委員長／山崎ふじ子 副委員長／篠崎聡
委員／影山孝男 三瓶一壽 大内広信 遠藤亮子 鈴木利一

